

報告第 4 号

令和元年度健全化判断比率及び資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項及び第 2 2 条第 1 項の規定により、令和元年度健全化判断比率及び資金不足比率を別紙監査委員の意見を付けて報告します。

令和 2 年 9 月 7 日提出

松前町長 石 山 英 雄

健全化判断比率

(単位：％)

区 分	令和元年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.00	20.00
連結実質赤字比率	—	20.00	30.00
実質公債費比率	7.4	25.0	35.0
将来負担比率	38.0	350.0	

備考

実質赤字額または連結実質赤字額がない場合は、「—」と表記する。

資金不足比率

(単位：％)

特別会計の名称	令和元年度	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
病院事業会計	—	20.0

備考

資金不足額がない場合は、「—」と表記する。

参 考 資 料

頁	参 考 資 料 の 名 称
1 頁	実質赤字比率及び連結実質赤字比率の算定
2 頁	実質赤字比率及び連結実質赤字比率の前年度比較
3 頁	令和元年度 各会計の決算状況
4 ～ 5 頁	実質公債費比率の算定
6 頁	将来負担比率の算定
7 頁	将来負担比率の前年度比較
8 頁	令和元年度 松前町水道事業会計の資金不足比率の算定等
9 頁	令和元年度 松前町病院事業会計の資金不足比率の算定等

実質赤字比率及び連結実質赤字比率の算定

(単位:千円)

1 実質赤字比率

会 計 名 等	実 質 収 支 額
一 般 会 計 ①	158,989
標 準 財 政 規 模 ②	3,480,334
実 質 赤 字 比 率 算 定 ①/②	4.56%

標 準 財 政 規 模 a	3,378,575
臨時財政対策債発行可能額 b	101,759
算 定 標 準 財 政 規 模 a+b	3,480,334

※実質収支額の黒字により

実 質 赤 字 比 率	—
-------------	---

2 連結実質赤字比率

・一般会計等

会 計 名	実 質 収 支 額
一 般 会 計	158,989
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	7,238
介護保険(保険事業勘定)特別会計	34,579
介護保険(サービス事業勘定)特別会計	440
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	659
合 計 ③	201,905

・公営企業会計

会 計 名	資 金 不 足 ・ 剰 余 額
水 道 事 業 会 計	404,611
病 院 事 業 会 計	881,251
合 計 ④	1,285,862

連 結 実 質 収 支 額 算 定 ⑤=③+④	1,487,767
連 結 実 質 赤 字 比 率 算 定 ⑤/②	42.74%

※連結収支額の黒字により

連 結 実 質 赤 字 比 率	—
-----------------	---

実質赤字比率及び連結実質赤字比率の前年度比較

(単位:千円)

項 目	平成30年度	令和元年度	増 減
標準財政規模 a	3,318,349	3,378,575	60,226
臨時財政対策債発行可能額 b	134,679	101,759	▲ 32,920
算定標準財政規模 a+b	3,453,028	3,480,334	27,306

1 実質赤字比率

会 計 名 等	実 質 収 支 額		
	平成30年度	令和元年度	増 減
一 般 会 計 ①	148,243	158,989	10,746
標準財政規模 ②	3,453,028	3,480,334	27,306
実質赤字比率算定 ①/②	4.29%	4.56%	0.27p
	黒字	黒字	

2 連結実質赤字比率

・一般会計等

会 計 名	実 質 収 支 額		
	平成30年度	令和元年度	増 減
一 般 会 計	148,243	158,989	10,746
国民健康保険特別会計	▲ 6,029	7,238	13,267
介護保険(保険事業勘定)特別会計	43,412	34,579	▲ 8,833
介護保険(サービス事業勘定)特別会計	259	440	181
後期高齢者医療特別会計	492	659	167
合 計 ③	186,377	201,905	15,528
	黒字	黒字	

・公営企業会計

会 計 名	資 金 不 足 ・ 剰 余 額		
	平成30年度	令和元年度	増 減
水道事業会計	386,151	404,611	18,460
病院事業会計	875,401	881,251	5,850
合 計 ④	1,261,552	1,285,862	24,310
	黒字	黒字	

・連結実質赤字比率

項 目	平成30年度	令和元年度	増 減
連結実質収支額算定 ⑤=③+④	1,447,929	1,487,767	39,838
連結実質赤字比率算定 ⑤/②	41.93%	42.74%	0.81p
	黒字	黒字	

令和元年度 各会計の決算状況

一般会計及び一般会計以外の特別会計のうち公営企業に係る特別会計以外の会計 (単位:千円)

会 計 名	歳入予算額	歳入決算額	比 較	歳出予算額	歳出決算額	比較(不用)	剰余・不足額	繰越財源	実質収支	
一般会計	5,787,171	5,842,102	54,931	5,787,171	5,683,014	104,157	159,088	99	158,989	黒字
国保会計	1,163,842	1,110,430	▲ 53,412	1,163,842	1,103,192	60,650	7,238		7,238	黒字
介護会計(保険事業)	1,032,254	1,022,852	▲ 9,402	1,032,254	988,273	43,981	34,579		34,579	黒字
介護会計(サービス)	12,991	13,161	170	12,991	12,721	270	440		440	黒字
後期高齢者医療	117,910	117,591	▲ 319	117,910	116,932	978	659		659	黒字
計	8,114,168	8,106,136	▲ 8,032	8,114,168	7,904,132	210,036	202,004	99	201,905	

公営企業に係る特別会計

会 計 名	①	※流動資産		②	※流動負債－控除企業債等			①－②	資金不足・剰余額
		流 動 資 産			流 動 負 債	控除企業債等			
水道事業会計	408,778	408,778		4,167	23,213	19,046			404,611 剰余額
病院事業会計	984,021	984,021		102,770	115,927	13,157			881,251 剰余額
計	1,392,799	1,392,799	0	106,937	139,140	32,203	0		1,285,862

各会計実質収支の合計 1,487,767

令和元年度標準財政規模 3,378,575 + 臨時財政対策債発行可能額 101,759 = 標準財政規模 3,480,334

【実質赤字比率】 =一般会計の実質収支 ÷ 標準財政規模 158,989 ÷ 3,480,334 = 4.56 %

【連結実質赤字比率】 =各会計実質収支の合計 ÷ 標準財政規模 1,487,767 ÷ 3,480,334 = 42.74 %

実質公債費比率の算定

(単位:千円)

算 定 項 目		平成29年度	平成30年度	令和元年度
①	元利償還金の額(繰上償還額等を除く)	646,294	746,461	794,690
②	積立不足額を考慮して算定した額			
③	満期一括償還地方債の1年当たりの元金償還金に相当するもの			
④	公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	16,368	16,435	18,238
⑤	一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	42,952	18,574	18,725
⑥	公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	135	104	66
⑦	一時借入金の利子	327	364	388
⑧	特定財源の額	58,127	59,869	59,716
⑨	事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費	29,301	17,189	12,767
⑩	災害復旧費等に係る基準財政需要額	412,109	474,896	506,364
⑪	密度補正により基準財政需要額に算入された元利償還金及び準元利償還金(ただし、④～⑦に係るものは、地方債の元利償還額を基礎として算入されたものに限る)	8,107	8,072	8,062
⑫	標準税収入額等	744,706	738,128	741,154
⑬	普通交付税額	2,579,202	2,580,221	2,637,421
⑭	臨時財政対策債発行可能額	138,129	134,679	101,759
⑮	地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方財政法施行令第12条の規定に基づき総務大臣が定める額(特別区のみ記入)			

実質公債費比率の算式	
$\frac{\textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3} + \textcircled{4} + \textcircled{5} + \textcircled{6} + \textcircled{7} - \textcircled{8} - \textcircled{9} - \textcircled{10} - \textcircled{11} - \textcircled{15}}{\textcircled{12} + \textcircled{13} + \textcircled{14} - \textcircled{9} - \textcircled{10} - \textcircled{11} - \textcircled{15}}$	

平成29年度	
$\begin{array}{r} \textcircled{1} \quad \textcircled{2} \quad \textcircled{3} \quad \textcircled{4} \quad \textcircled{5} \quad \textcircled{6} \quad \textcircled{7} \quad \textcircled{8} \\ 646,294 + 0 + 0 + 16,368 + 42,952 + 135 + 327 - 58,127 \\ \textcircled{9} \quad \textcircled{10} \quad \textcircled{11} \quad \textcircled{15} \\ - 29,301 - 412,109 - 8,107 - 0 \end{array}$	$= 198,432$
$\begin{array}{r} \textcircled{12} \quad \textcircled{13} \quad \textcircled{14} \quad \textcircled{9} \quad \textcircled{10} \quad \textcircled{11} \quad \textcircled{15} \\ 744,706 + 2,579,202 + 138,129 - 29,301 - 412,109 - 8,107 - 0 \end{array}$	$= 3,012,520$
	6.58691%

平成30年度	
$\begin{array}{r} \textcircled{1} \quad \textcircled{2} \quad \textcircled{3} \quad \textcircled{4} \quad \textcircled{5} \quad \textcircled{6} \quad \textcircled{7} \quad \textcircled{8} \\ 746,461 + 0 + 0 + 16,435 + 18,574 + 104 + 364 - 59,869 \\ \textcircled{9} \quad \textcircled{10} \quad \textcircled{11} \quad \textcircled{15} \\ - 17,189 - 474,896 - 8,072 - 0 \end{array}$	$= 221,912$
$\begin{array}{r} \textcircled{12} \quad \textcircled{13} \quad \textcircled{14} \quad \textcircled{9} \quad \textcircled{10} \quad \textcircled{11} \quad \textcircled{15} \\ 738,128 + 2,580,221 + 134,679 - 17,189 - 474,896 - 8,072 - 0 \end{array}$	$= 2,952,871$
	7.51513%

令和元年度	
$\begin{array}{r} \textcircled{1} \quad \textcircled{2} \quad \textcircled{3} \quad \textcircled{4} \quad \textcircled{5} \quad \textcircled{6} \quad \textcircled{7} \quad \textcircled{8} \\ 794,690 + 0 + 0 + 18,238 + 18,725 + 66 + 388 - 59,716 \\ \textcircled{9} \quad \textcircled{10} \quad \textcircled{11} \quad \textcircled{15} \\ - 12,767 - 506,364 - 8,062 - 0 \end{array}$	$= 245,198$
$\begin{array}{r} \textcircled{12} \quad \textcircled{13} \quad \textcircled{14} \quad \textcircled{9} \quad \textcircled{10} \quad \textcircled{11} \quad \textcircled{15} \\ 741,154 + 2,637,421 + 101,759 - 12,767 - 506,364 - 8,062 - 0 \end{array}$	$= 2,953,141$
	8.30296%

単年度比率	平成29年度	6.58691%
	平成30年度	7.51513%
	令和元年度	8.30296%

実質公債費比率(3ヵ年平均)
7.4%
※表示単位未満切捨て

前年度比較

実質公債費比率	平成30年度	令和元年度	増	減
	7.1%	7.4%	0.3p	

将来負担比率の算定

(単位:千円)

将 来 負 担 額		令和元年度
①	地方債の現在高(令和元年度末)	7,406,592
②	債務負担行為に基づく支出予定額	0
③	公営企業債等繰入見込額	243,683
④	組合等負担等見込額	219,681
⑤	退職手当負担見込額	826,824
⑥	設立法人の負債額等負担見込額	0
	地方道路公社	0
	土地開発公社	0
	地方独立行政法人	0
	第三セクター等 (損失補償、信託、貸付)	0
⑦	連結実質赤字額	0
⑧	組合等連結実質赤字額負担見込額	0
合 計		8,696,780

標 準 財 政 規 模 a	3,378,575
臨時財政対策債発行可能額 b	101,759
算 定 標 準 財 政 規 模 a+b	3,480,334

算 入 公 債 費 等 の 額	527,193
参考資料3-1 令和元年度実質公債費比率の算定に用いた⑨+⑩+⑪の額	

充 当 可 能 財 源 等		令和元年度
⑨	充当可能基金	1,592,528
⑩	充当可能特定歳入	892,523
	うち都市計画税	0
⑪	基準財政需要額算入見込額	5,087,214
合 計		7,572,265

計算式

将 来 負 担 額	—	充 当 可 能 財 源 等	=	分 子	
8,696,780		7,572,265		1,124,515	
			=		
標 準 財 政 規 模	—	算 入 公 債 費 等 の 額	=	分 母	
3,480,334		527,193		2,953,141	
			=		
					将 来 負 担 比 率
					38.0%
※表示単位未満切捨て					

将来負担比率の前年度比較

(単位:千円)

項 目	平成30年度	令和元年度	増 減
標準財政規模 a	3,318,349	3,378,575	60,226
臨時財政対策債発行可能額 b	134,679	101,759	▲ 32,920
算定標準財政規模 a+b	3,453,028	3,480,334	27,306
算入公債費等の額	500,157	527,193	27,036

将来負担額	平成30年度	令和元年度	増 減
① 地方債の現在高(各年度末)	7,551,655	7,406,592	▲ 145,063
② 債務負担行為に基づく支出予定額	0	0	0
③ 公営企業債等繰入見込額	227,181	243,683	16,502
④ 組合等負担等見込額	155,059	219,681	64,622
⑤ 退職手当負担見込額	850,172	826,824	▲ 23,348
⑥ 設立法人の負債額等負担見込額	0	0	0
地方道路公社	0	0	0
土地開発公社	0	0	0
独立行政法人	0	0	0
第三セクター等(損失補償、信託、貸付)	0	0	0
⑦ 連結実質赤字額	0	0	0
⑧ 組合等連結実質赤字額負担見込額	0	0	0
合 計	8,784,067	8,696,780	▲ 87,287

充当可能財源等	平成30年度	令和元年度	増 減
⑨ 充当可能基金	1,746,538	1,592,528	▲ 154,010
⑩ 充当可能特定歳入	804,022	892,523	88,501
うち都市計画税	0	0	0
⑪ 基準財政需要額算入見込額	5,313,048	5,087,214	▲ 225,834
合 計	7,863,608	7,572,265	▲ 291,343

将来負担比率	平成30年度	令和元年度	増 減
	31.1%	38.0%	6.9p

令和元年度 松前町水道事業会計の資金不足比率の算定等

(単位:千円)

資金不足比率

資金の不足額の算定

流動負債の額	①	23,213
控除企業債等	②	19,046
控除引当金等	③	
流動資産の額	④	408,778
貸倒引当金	⑤	
(①-②-③)-(④+⑤)=⑥		▲ 404,611

事業の規模の算定

営業収益の額	⑦	141,740
受託工事収益の額	⑧	
⑦-⑧=⑨		141,740

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{⑥ 資金の不足額}}{\text{⑨ 事業の規模}}$$

※資金の不足額が負の値となるため、資金不足は生じていない。

資金不足比率	—
--------	---

前年度比較

資金の不足額の算定

	平成30年度	令和元年度	増減
流 動 負 債 の 額 ⑩	24,554	23,213	▲ 1,341
控 除 企 業 債 等 ⑪	19,437	19,046	▲ 391
控 除 引 当 金 等 ⑫	0	0	0
流 動 資 産 の 額 ⑬	391,268	408,778	17,510
貸 倒 引 当 金 ⑭	0	0	0
(⑩-⑪-⑫)-(⑬+⑭)=⑮	▲ 386,151	▲ 404,611	▲ 18,460

事業の規模の算定

	平成30年度	令和元年度	増減
営業収益の額 ⑯	145,729	141,740	▲ 3,989
受託工事収益の額 ⑰	0	0	0
⑯-⑰=⑱	145,729	141,740	▲ 3,989

	平成30年度	令和元年度	増減
資金不足比率	—	—	—

令和元年度 松前町病院事業会計の資金不足比率の算定等

(単位:千円)

資金不足比率

資金の不足額の算定

流動負債の額	①	115,927
控除企業債等	②	13,157
控除引当金等	③	
流動資産の額	④	984,021
貸倒引当金	⑤	
(①-②-③)-(④+⑤)=⑥		▲ 881,251

事業の規模の算定

医業収益の額	⑦	980,080
受託工事収益の額	⑧	
⑦-⑧=⑨		980,080

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{⑥ 資金の不足額}}{\text{⑨ 事業の規模}}$$

※資金の不足額が負の値となるため、資金不足は生じていない。

資金不足比率	—
--------	---

前年度比較

資金の不足額の算定

	平成30年度	令和元年度	増減
流動負債の額	⑩ 99,624	115,927	16,303
控除企業債等	⑪ 11,794	13,157	1,363
控除引当金等	⑫ 0	0	0
流動資産の額	⑬ 963,231	984,021	20,790
貸倒引当金	⑭ 0	0	0
(⑩-⑪-⑫)-(⑬+⑭)=⑮	▲ 875,401	▲ 881,251	▲ 5,850

事業の規模の算定

	平成30年度	令和元年度	増減
医業収益の額	⑯ 1,053,548	980,080	▲ 73,468
受託工事収益の額	⑰		
⑯-⑰=⑱	1,053,548	980,080	▲ 73,468

	平成30年度	令和元年度	増減
資金不足比率	—	—	—